

みこころ



カトリック松山教会
〒790-0003 松山市三番町四丁目 5-5
Tel 089-921-1849 FAX 089-921-2109
アントニオ・リー神父 O. P.
発行 広報活動委員会

新しい年を迎え・
喜びあふれる場に

皆さん、

明けましておめでとうございます。

アントニオ・リー（リー）です。

去年は、新型コロナウイルスの感染拡大で

一時ミサを中止するなど大変でした。

今でも、皆さんの協力を得て、聖堂内では

密閉・密集・密接の3密対策をとって、

午前9時からと午前11時からの2回に

分かれてミサ集会を行っています。

これからも気を緩めないで、新型コロナ感

染防止対策に取り組んでいきましょう。



カトリック松山教会担当司祭
アントニオ・リー神父 O. P.

新しい年を迎えて、同じ信仰を持っている
信徒の皆さん教会を「喜びあふれる場」に
しましょう。

① 教会は神様からいただく大きな喜びを感じ
る場所にならなければいけないと思っ
ています。

「喜びあふれる場所」それが私の司牧と
しての目標です。これは、1年、2年では
なく、ずっと思っていることです。

教会は「喜びあふれる場所」神に出会う
場所です。

私達は、生活の中で困ったこと、寂しい

こと、いろいろ悩みがあるでしょう。

秘跡の中で、「イエスキリスト」と出会う

喜びを皆さんに伝えたいと思っています。

す。

② 共同体からの喜びです。

共同体の中では、考えの違う、合わない

人、見たくない、心が通じ合わない人が

いると思いますが、その中で何人か心が

通じ合う人がいるのであれば、きっとそ

こから、喜びが生まれるのではないでしょ

うか。

それが「共同体からの喜び」です。

③ 教会の中で、自分が奉仕されることが多

いと思いますが、そうではなく、自分が

奉仕をすることの喜びがあるのです。

ただ自分が、教会の言う通りに動くので

はなく、「奉仕する喜び」それを感じる

ことが大切だと思っています。

④ 言葉とか行動とかで神の国を伝えるこ

とはなくて、私達の心の中にある喜び

「真の神様からの喜び」があるのであれ

ば、その喜びは、自分が隠したくても、

隠すことができない。

新型コロナの影響で、人との出会いが難

しくなり、多数の集いを開くことができ

なくなりました。

その代わりに、インターネットで教会と

のつながりを強めましょう。

いま、長寿社会で、お年寄りが増えてい

ます。

私たちは、ラインとかユーチューブとか

デジタルでインターネットを使わなく

てはなりません。

すでに、使っているお年寄りもたくさん

います。

インターネットで、教会とのつながりを

保つためにも、スマートフォンなど携帯電

話の使い方を教える教室を開こうと考

えています。

皆さん、お互いに神の慈しみと愛を持っ

て、「喜びの一步」を私と共に踏み出しま

しょう。

松山教会・ 改革への道



宣教司牧評議会
議長 柏原 勝利

今年は、コロナウィルスに世界中が、翻弄され、担当司祭アントニオ神父様の、松山教会着任が大幅に遅れるアクシデントはありましたが、神父様着任後は、まさに設備面とソフト面、いずれも、信徒の皆さんが、驚くような改革の連続であったと思います。



①

設備面では、司祭室、香部屋、事務室、資料室、談話室、全ての部屋の、整理と改装をしました。
特に談話室はテーブル形式にして、会議を開く環境が整い、評議会委員会はじめ、各種の委員会やクラブの集会などで、皆さんにご利用して頂いています。



②

施設面では、マリア書院のリノベーション工事をし、オアシスとして、新たな布教の場、コミュニケーション作りの場として、生まれ変わりました。

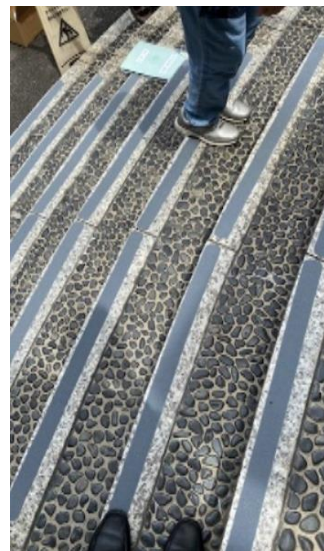
十月より運営を開始しましたが、現在では、毎日の担当者を決め、月曜日以外は十時から午後四時まで開店しています。

細かいところですが、聖堂入り口の階段に、滑り止めテープを張り、信徒の皆さんの安全に配慮しました。

③

ソフト面では、ミサの司式の様子をインターネット配信し、ミサに参加できない信徒の方にも、神父様の説教が、聞けるようになりました。

評議会や葬儀委員、その他の会などでも、グループラインを作成して、情報を発信し、正確に早く通知することが可能となりました。



④

ミサの中でも、外国人による参加奉仕が多くなりました。





⑤ 信徒名簿の見直しに着手し、地域の委員さん他、多数の奉仕の皆さんにより、新名簿が出来ました。

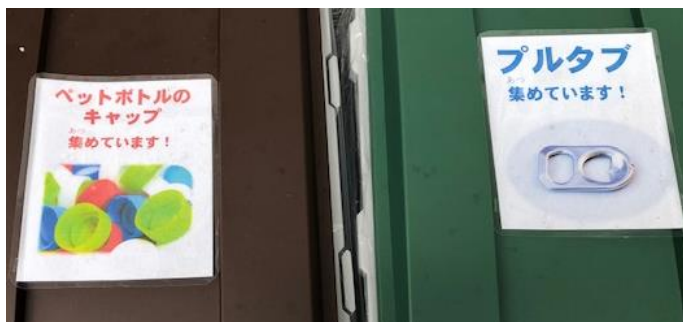
ミサに参加し、維持献金を納めている信徒は現勢信徒数420名です。

これにより、信徒数の実数が把握でき、今後の財政的な計画材料にもなりますが、組織的に今後の運営材料としても、活用できるものと思います。



⑥ 葬儀でも、納棺式から司式し、葬儀ミサが終了すると火葬場まで行き、祈りを捧げていただけです。

信徒も社会の一員であることを考え、自覚するために、ペットボトルのキャップと、アルミ缶のプルタブの収集にも取り組んでいます。



これらのことは、全て評議委員会を通して、実施されてきたものです。

アントニオ神父様が着任し、まだ、半年しか経っていないのに、もう何年もの、課題に取り組んだ感じさえします。

今まで慣れ親しんだ環境を変えていくということは、少なからず抵抗もあると思います。が、松山教会が、組織基盤を盤石なものとし、さらに発展していくためには、今後にも必要なのは、改革は、進めていく必要があります。

信徒の皆様には、今後ともご理解の上、松山教会のために、ご協力をよろしくお願いいたします。



初聖体おめでとう

11月
22日



江藤 慈恩	しおん
新田 羽叶	わかな
上田 愛	あい
佐野 弘宗	ひろむね

初聖体式

江藤 慈恩 小学6年



僕は10ヶ月間、先生と友達と一緒に神様のことを勉強してきました。
今まで、神様のことをよく知らなかったけど、勉強してみても神様が、ぼくの近くにいてくださるのだと実感しました。

初聖体は、イエス様の体の一部を初めていただく日です。

きんちようしたけど、みんなから「おめでとう」と言われてうれしい気持ちになりました。

初聖体が終わって、これからぼくは、イエス様と一緒に成長していきます。

大事な教えを忘れず、これからもがんばっていきたいと思います。

初聖体式

新田 羽叶 小学3年



わたしがはじめてごせいたいをいただいた時、イエスさまとたくさんお話をしました。ごせいたいをいただくまえは、どんな形をしているんだろう。

いただいたあとは、どんなお話をしたらいいんだろう。と、いろいろなことを考えていました。

でも、いただいてからはいろいろなお話ができてよかったです。

これからも、ミサにさんかしたいと思います。

初聖体式

上田 愛 小学4年

わたしが初せいたいを受けたときに、心にのこったことは、二つあります。



一つめは、みんなといっしょに勉強できたことです。わかなちゃん、ひろむねくん、しおんくん、みほ先生、こまこ先生といっしょにできて楽しかったです。

ほうとうむすこ(やさしいお父さま)など、みんなで勉強できてよかったです。

二つめは、初せいたいを受けたことです。みんなでごせいたいを受けてよかったです。

これからもみんなとなかよくしたいです。

初聖体式

佐野 弘宗 小学3年



ぼくは、今年初せいたいの勉強をして十一月二十二日に、ごせいたいをいただきました。

その前に、せい水できよめてもらって、ゆるしのひせきを受けました。

そして、体も心もきれいになりました。

当日は、ものすごくきんちようしましたが、ごせいたいをいただいた時、イエス様が本当に、ぼくの心の中にきてくれたと思いました。

これからは、できるだけうそをついたり、けんかをしたりしないです、こまっっている人を助けるような人になりたいです。



洗礼式おめでとう

「私は親として、楠岡かなとが、洗礼の恵みを受けて、教会の信仰の内に暮らし、信者の皆さんと共に、主イエスキリストのものになることを願っています。」

12月

13日



上田 有子さん
幼きテレジア



楠岡 叶翔（かなと）
ヨハネ・パウロ二世



キリストの恵み、神と一人の成長する子供の信仰を育ててください。
教会の一員となるのです。十字架のしるしを示してください。



長島 宏さん
ドミニコ



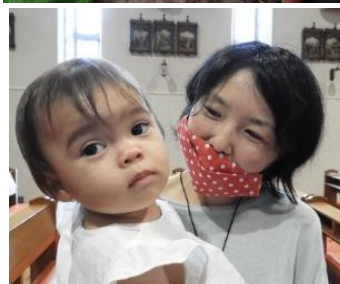
江戸 郁織（かおり）
ヴィアンナ



藪 田鶴子さん
シエナのカタリナ



オルダー愛真（えま） ローズ
ローザ



11月

21日

9月

13日



『七五三をしたよ』
十一月十五日に、きょうかいで七五三のおいわ
いをしたよ。

『七五三をしたよ』

半澤 亜花莉 7歳



山中 鈴華

5歳

山中 峻矢

7歳

半澤 亜花莉

7歳

七五三のお祝い

11月
15日



かみさまありがとうございます。
しんぷさまにも
かんしゃしています。
ありがとうございます。
うれしかったです。
ほんとうに
ありがとうございます。



亜花莉ちゃんの
イラスト

しんぷさんがメダイをくれてうれしかったです。
みんながおいわいをしてくれてうれしかったです。
かみさまに、いつもまもってもらえて、
いつもげんきにあそんだり、べんきょうをしたり
できています。

『七五三祝福』

山中しゅんや 7歳

七五三のおいわいで、しんぷさんからメダイと、
おかしをもらってうれしかったです。



山中 鈴華

山中 峻矢

半澤 亜花莉

山中寿乃 保護者
ミサの始まる前に、アントニオ神父様と初めて会
って親しく声をかけていただき、子ども達も喜んで
参加することができて、本当にありがとうございます。
これからも、「神様に守られて心やさしく、すな
おに育ちますよう」お祈りしました。



みんなの「オアシス」

「オアシス」誕生

奉仕者 長井 道子



教会の信者で無くても自由にに入れる場所が出来ました。

今は、奉仕者10数名がお手伝いしています。

コロナ禍なので、空気清浄機をかけ、15分間に1回の換気、マスク、アルコール消毒と考えられる対策を取って運営しています。

10月にオープンした当初は、やはり信者さんの利用が中心でした。

それが、平日には「気になっていたので入っていたですか」と、オフィス街の女性グループが来たり、亡くなった母が、教会に来ていたので、のぞいてくれたりと、少しずつ教会に入った事のない人も訪れてくれるようになりました。

神父様も時間がある時は、居てくださるので、お手伝いの私達とも交流ができ、聖書の事も気軽に伺う事ができるのもメリットかもしれません。



もちろん、何の問題もなく、すべて順調という訳ではありません。

金銭面でも心配はありません。

でも自分達のできる事を一生懸命し、それが神様の御心になうならきつと前が見えてくるのではないのでしょうか。

マリア書院を続けてくれた方々の長年の努力を無にする事なく、その精神を「オアシス」という形で引き継ぎ、その温かさ、きめ細やかさをなんとか続けていけるよう、これからも広く意見を聞きつつ、めざすスペースになる様、日々努力していくつもりです。

松山に來られた折には、是非お立ち寄り下さい。定休日は原則月曜日、教会行事がある場合を除き、「朝10時から夕方16時」まで開けております。

※簡単な聖品と教会の本は、販売していますので、ご心配なく。



敬老の日

9月
13日

皆さんお元気で教会に来てくださっています。
この日は、75歳以上のお年寄り70人に
アントニオ・リー神父様から祝福のプレゼントが
贈られました。



成人式

1月
3日

二十歳の成人のお祝いが行われました。
男性3人・女性4人が、アントニオ・リー神父様か
ら祝福されました。
女性の皆さんはベトナムの若者たちです。



帰天者

○ヨゼフ 佐藤 嘉治さん

○田村 泰さん

○則内 幹男さん

○ガブリエル 浅山 修さん

○イヴォ 山内 圭三郎さん

○マリア 今澤 藤子さん

○マリア 中村 芳子さん

○アナスタシオ 藤原 光さん

○マリア・イエズス 細木 千代子さん

○ホセ・ヨゼフ・マリア・エクスリバー 好本 幸次さん

○イノセンシア 大西 喜久世さん

○マルチン 関 隆さん

○ヨハネ・マリア・ビアンネ 田窪 利光さん

○マルチン・デ・ポレス 中原 和美さん

○フランシスコ・ザビエル 野村 隆彦さん

転入者 ありません

転出者 紙村 ハナエ